# 歴史民俗資料館だより

## 早道（はやみち）

江戸時代、外出の際に持ち歩く「袋物」の種類は、大きく三つに分かれており、懐に収めるための「懐中物」、帯の外に露出している「提げ物」、手に持つための「手提げ物」がありました。

このなかの「提げ物」は、男性が腰から提げて使うことから、「煙草入れ」、銭を入れる「巾着」、薬や小銭を入れる「早道」などがありました。

▲ 上部の円筒部分には持薬、下部の袋に小銭を入れた

「早道」とは、本来、「飛脚・巾着・銭入れ」の意味ですが、胴巻きや首から提げて懐中深くへしまった財布に比べ、小銭が素早く取り出せるので、このように呼ばれるようになりました。江戸時代の旅では、当日分の小銭や上部の円筒部分には持薬を入れ、腰に提げるために巾着型をしており、スリなどに取られないように工夫がされていました。材質は鹿や羊のなめし皮などでできています。

旅の心得として文化七年（一八一〇）に発行された「旅行用心集」によれば、まず荷物を軽くし、かさばらないことが最も大切だと記されています。このため「早道」など、折りたたみや小さくコンパクトな作りにしたいろいろな携帯品が工夫されました。

資料館では、江戸時代の商人の旅道具の一つとして「早道」を紹介、展示しています。

## 行政相談 人権相談

人権相談は、自宅でも応じています。

相談の秘密は固く守られますのでお気軽にご相談ください。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 人権相談 | 人権擁護委員 | 齋藤好子 | 中川町20 | ☎387・0812 |
| | | 保母勝壽 | 弥生町30 | ☎387・2782 |
| | | 後藤　稔 | 北及1183 | ☎388・1495 |
| | | 杉原貴子 | 中野256 | ☎388・1496 |

※行政相談は、現在、行政相談委員が欠員になっていますので、岐阜行政評価事務所（☎246・4411）へご相談ください。